（作成者：クリニカルパス専門部会）

ATH+BSO+リンパ節郭清（子宮癌）手術を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院：1病日 ／ 手術1日前	2病日 ／ 手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	3病日 ／ 手術後1日目	4病日 ／ 手術後2日目	5病日 ／ 手術後3日目	6～7病日 ／ ～ ／ 手術後4～5日目	8病日 ／ 手術後6日目	9病日：退院 ／ 手術後7日目	【退院後の生活について】
達成目標	・手術の経過について理解できる							・退院指導の内容を理解できる		・卵巣摘出後は骨粗しょう症になりやすいため、カルシウムが多く含まれる食品（牛乳・チーズ・ヨーグルト・豆腐・小松菜・チンゲン菜等）を摂ってください。ビタミンDの多い食品（鮭・サンマ・カレイ・鯖等）を組み合わせて摂取するとカルシウムの吸収を良くします ・便秘予防として水分を1～1.5L／日摂取してください。また、食物繊維の含まれる食べ物を積極的に摂ってください ・シャワー浴はできます。湯船に浸かる時期については、次回受診時、医師にご確認ください ・創部は泡立てた石鹸でなでるように洗い、シャワーで流して押さえ拭きしてください ・退院後1ヶ月程度は、激しい運動や重いものを持ち上げるなど、お腹に力の入る姿勢はとらないでください ・仕事は医師に許可を得てからにしてください ・医師の許可が出るまでは性生活は避けて下さい 以下の症状がある時はご連絡ください ・38.0度以上の発熱 ・生理と同じくらいの出血 ・痛み止めを内服した後も続く腹痛 ・創部が化膿したり、赤く腫れたとき 【緊急連絡先】 ・平日時間内（8：30～16：30） 産科・婦人科外来 ：0985-85-9332 ・土日・祝日　時間外 4階西病棟：0985-85-1746
			・呼吸困難がない ・性器出血がない ・痛みによる苦痛がない							
内服	・薬剤師が、持参薬及び服薬状況について確認します			・漢方薬の内服を開始します（朝、昼、夕食前）						
手術		手術								
注射		・点滴をします			・点滴を抜きます					
				・血栓予防のための皮下注射をします（3日間）						
検査	・採血 ・エコー ・身長・体重測定		・採血	・採血				・採血	・体重測定	
処置	・15時と寝る前に下剤を内服します	・朝、浣腸をします	・手術室で尿の管を入れます		・尿の管を抜きます					
		・弾性ストッキングを着用します	・フットポンプをつけます		・フットポンプを外します				・弾性ストッキングを脱ぎます	
			・手術室で創部にドレーン（管）を入れます		・創部のドレーンを抜きます					
			・手術室で背中から麻酔チューブ（硬膜外チューブ）を入れます		・硬膜外チューブを抜きます					
			・心電図、酸素飽和度モニターをつけます		・心電図、酸素飽和度モニターを外します					
				・創部の消毒をします		・創部を確認します		・創部の消毒をします		
食事	・夕食後は、指示された時間から、飲食はできません	・飲食はできません			・朝食（7分粥食）から開始となります。状態に合わせて食事形態を変更します（昼食：全粥　夕食：軟飯粥）	・朝食から常食となります				
活動・安静	・制限はありません	・病棟内でお過ごしください	・ベッド上安静です	・ベッド上安静ですが、トイレまでは歩けます。初めて歩くときは看護師が付き添いますので、ナースコールでお知らせください		・病棟内でお過ごしください	・制限はありません			
清潔	・シャワー浴をしてください	・洗面、歯磨きを済ませてください	・洗面、歯磨きを介助します	・身体を拭きます		・シャワー浴ができます				
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が手術の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・転倒転落予防について説明します ・術前オリエンテーションを行います		・手術後、医師が説明をします		・リンパ浮腫について説明します					
その他	・同意書は職員にお渡しください ・手足の爪を切り、マニキュアは落としてください ・化粧は落としてください ・手術の必要物品を確認します 【必要物品】 ・腹帯　2枚　　・T字帯2枚 ・お産パッドM　1袋 ・バスタオル　1枚	・手術衣に着替えます ・義歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリー等は外し、各自保管してください。メガネと補聴器は必要時、手術室までつけていけます ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は、4階デイルームで待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください	・痛みがあれば鎮痛剤を使用しますので、我慢せずにお知らせください							
			・深部静脈血栓症を予防するために、膝が曲がるようになれば足首の反り返しや曲げ伸ばしを行ってください							

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。

宮崎大学医学部附属病院
2024年9月承認
2025年4月更新